



東京立川ロータリークラブ

2019.4.12 第2835回 例会

Weekly Report



本日の卓話講師 服部幸應様を囲んで

【司会進行】

SAA委員会 織原寛一郎委員長

【開会点鐘】 清水淳一会長

【ロータリーソング斉唱】

『我らの生業』

【お客様の紹介】 清水淳一会長

【会長挨拶】 清水淳一会長

【次年度委員長発表】

長井 守会長エレクト

【幹事報告】 平井洋孝幹事

【委員会報告】

環境保全委員会 村上寿之副委員長

親睦ゴルフ会 磯部弘志さん

【ニコニコ発表】

親睦委員会 永淵 慎委員

【出席率の発表】

出席委員会 渡辺博昭委員

会 員 数	112名
出 席 義 務 会 員	102名
出 席 免 除 会 員	10名
当 日 出 席 者	94名
出席免除会員の当日出席者	6名
出 席 率	87.03%
3月29日の出席率	91.42% → 98.11%

【卓話講師紹介】

プログラム委員会 岩田明彦委員

【卓話】 学校法人服部学園

服部栄養専門学校

理事長・校長／医学博士 服部幸應様

【閉会点鐘】 清水淳一会長

【会長挨拶】 清水淳一会長

新しい元号「令和」が発表されたあと、あわただしく世の中が動きました。今度は紙幣のデザインが一新されると発表があり、天皇、皇后ご成婚60年を迎えられ、また、閣僚が次々と辞任しました。桜田前五輪大臣、塚田前国土交通副大臣とも発言に一言一言多すぎるかと思えます。特に桜田さんは、なにか私に似ているようで改めて気を付けなければ。そんな中、私の中ではいつのまにか春の選抜高校野球が終わってしまいプロ野球が開幕し、平井幹事が忙しい時期になりました。また、アメリカ大リーグ、エンゼルスで活躍している大谷選手の高校時代の球速記録を破る高校球児が現れました。岩手県の大船渡高校の佐々木投手で球速が163キロも出たそうです。さて、今年の夏の甲子園で秋田県の金足農高の吉田投手の連投のように、ピッチャーが試合で投げる球数に上限をつくり、投げすぎを防ぐ投球制限が話題になっています。2006年に始まった「ワールド・ベースボール・クラシック」でアメリカの大リーグや日本のプロ野球は、シーズン前だったからピッチャーの投げすぎを避けようとし、第1回目から投球制限がとりいれられ、日本でも知られるようになったそうです。野球で多いケガに、ひじが痛くなったり、ひどいと骨が変形したりする「野球ひじ」があり、主な原因が投げすぎだそうです。ひじの故障は骨格が未熟な成長期のピッチャーに起きることが多く、小学生や中学生といった若い世代でこそ必要という意見が多く、全日本軟式野球連盟は今年の夏から小学生の全国大会で、1日70球の制限を設けるそうです。連投をやめたり、大会日程をゆるめたり練習での投球数を考えたりすることがピッチャーのケガを減らすのに大切なことだそうです。これからは私も食べすぎず、飲みすぎず、ゴルフやスキーでは飛ばしすぎず、特にお酒では何度も発言や行動で失敗を繰り返しております。何事も気負うことなく、やりすぎず、じっくりと残りの任期を全うしようと思います。



清水淳一会長

【お客様の紹介】 清水淳一会長

【卓話講師】 服部幸應様(学校法人服部学園 服部栄養専門学校 理事長・校長／医学博士)
中野隆右様(東京立川こぶしロータリークラブ)

2018～2019年度 RIテーマ

2018～2019年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン



インスピレーションになる

2018～2019年度 クラブテーマ

「一期一会
ロータリー」

東京立川ロータリークラブ
会長 清水淳一



司会進行
織原寛一郎委員長



ニコニコ発表
永淵 慎委員



出席率の発表
渡辺博昭委員



例会時には必ずバッジをつけましょう

【次年度委員長発表】 長井 守会長エレクト

発表の前に、60周年に対する考え方について話したいと思います。通常周年行事は実行委員会が中心となり企画実行されると思いますが、今回は会議内容の重複回避、会議開催数の削減等の視点から、記念式典・祝賀会を常設の委員会が担当して頂く事としました。伝統ある東京立川ロータリークラブとして、どのような周年行事が相応しいのか、過去の事例や他クラブの事例も参考にしながら、老壮青の会員をバランスよく配属し、委員会メンバーでじっくり意見交換し、伝統・格式・変化・革新等をキーワードとし、オリンピックイヤーやクールジャパン等も意識しながらコストパフォーマンスにも留意して、思い出に残る記念式典・祝賀会を作り上げて頂きたいと思っております。最終的には、会員一同のコンセンサスを得る事が重要だと思います。記念式典の事前準備や当日の運営実務は、会員全員のご協力を頂いての開催となると思います。また記念誌についてはクラブ会報委員会中心にお願いしたいと思っております。ご理解の程お願い申し上げます。60周年は50周年の時と同様に会員の皆様からロゴを募集したいと思います。メールボックスに募集要項を入れておりますので、ご確認頂きたいと思っております。



プログラム委員会	山下隆仁さん
SAA委員会	鈴木 誠さん
職業奉仕委員会	松浦孝治さん
社会奉仕委員会	田中 太さん
環境保全委員会	木村政人さん
国際奉仕委員会	織原寛一郎さん
ロータリー財団委員会	矢澤俊一さん
米山奨学委員会	井上修一さん
青少年奉仕委員会	小松 剛さん
創立60周年記念式典準備委員会	坂村英之さん

【幹事報告】 平井洋孝幹事

●来週17日水曜日は東京昭島中央ロータリークラブ創立30周年記念式典が開催予定。15時登録開始・16時開会。●世界米山大会開催案内を各テーブルに配布。モンゴル開催で会友の宮田さんよりクラブ各位へのアナウンス要請あり。



【委員会報告】

環境保全委員会 村上寿之副委員長

緑のフィールドコンサートが4月29日となっておりますが、まだ出欠のご連絡を頂いていない方は本日中に事務局にご連絡をお願い致します。また当委員会主催の植樹ですが、5月14日(火)に桧原村の東京美林倶楽部の管理山林への植樹を実施致します。当日は12:30に当パレスホテル前に集合して頂き、マイクロバスにて現地に向かう予定ですが、先着25名となっておりますので、是非早めのご参加表明をお願い致します。また自家用車での参加も結構ですので、多くの方にご参加頂ければ幸いです。本日事務局からお知らせが行きますので、ご確認下さい。



次年度委員長



会 長	長井 守さん
会長エレクト	横手好一さん
会長ノミニー/クラブ奉仕委員長	益子悦雄さん
直前会長/副会長	清水淳一さん
監 査	岡部直土さん
幹 事	中山賢一さん
会 計	木村辰幸さん
副 幹 事	木村真人さん
会員増強・分類委員会	宇都木健太さん
会員選考委員会	鈴木祥祐さん
R情報・雑誌委員会	尾内昭夫さん
クラブ会報委員会	宮崎昭人さん
広報委員会	津田宣秋さん
出席委員会	渡辺博昭さん
親睦委員会	古屋佳男さん

親睦ゴルフ会 磯部弘志さん

第98回市村杯が5月23日、飯能グリーンCCで開催予定となっております。ご希望の方は来週が締め切りとなっておりますので、至急返答をお願い申し上げます。尚、表彰式、懇親会は伊勢丹バンケットにて開催予定となっております。また今回の大会から、ハンディキャップの改定をさせていただきます。詳細は参加者の方に組み合わせ通知時にお知らせ致します。



【ニコニコ発表】 親睦委員会 永淵 慎委員

●清水淳一会長 本日の卓話の講師であります、学校法人服部学園 服部栄養専門学校 理事長・校長/医学博士 服部 幸應様、お忙しい中お越し頂き有難うございます。「2020年オリパラにむけての食

の有り方」の卓話、楽しみにしております。宜しく願い致します。

- 平井洋孝幹事 学校法人服部学園 服部栄養専門学校 理事長・校長/医学博士 服部 幸應様、本日は卓話ありがとうございます。楽しみにしておりました。
- 長井 守さん 本日、次年度の役員理事委員長の皆様の発表をさせて頂きますので、宜しく願います。
- 岩田明彦さん 服部先生、本日は大変ご多忙の中、本当に有難うございます。卓話、楽しみにしています。
- 岡部直士さん 来週開催されます“東京都スキー連盟会長就任祝い”に多くのロータリアンの出席を頂ける様で、心より感謝申し上げます。
- 布施 明さん 今年も、立川フラメンコの季節になりました。5月2日前夜祭、5月3日立川フラメンコ開催日です。多くの皆様のご来場をお待ちしております。
- 金原宏和さん 誕生日と結婚記念日のお祝いを頂き、有難うございました。本日、21回目の結婚記念日です。
- 大高 均さん 誕生日のお祝い有難うございました。老化する体と戦う毎日です。
- 宮澤公栄さん 誕生記念のお祝いありがとうございます。服部様、本日の卓話宜しく願います。
- 菊池寛樹さん 四月八日普濟寺での花祭りの日、多摩ライフ倶楽部をお連れした町歩きでは、まちの案内人も含め美味しい甘茶をご馳走になりました。馬場さんには寒い中、暖かいおもてなしのお陰で、最後まで楽しく歩く事が出来ました。有難うございました。
- 益子悦雄さん 14日にスキー検定があります。いまからドキドキです。岡部さん宜しく願います。
- 古屋佳男さん 明日は、待ちに待ったスキー検定2級の試験日です。岡部さんどうぞ宜しく願致します。

本日合計 61,000円 本年度累計 2,541,000円

【卓話講師紹介】

プログラム委員会 岩田明彦委員

皆様もテレビ等でご覧になられているかと思いますが、服部先生と出会ったのは1999年で、ルミネ町田店を作った際に自身が担当をしており、その時の大きなプロジェクトを服部先生とさせて頂いたのがご縁です。服部先生はテレビそのまま、素晴らしい人徳を兼ね備えておられる方で、日本の食育の第一人者であり、今後東京オリパラでこれから益々忙しくなられる中、お越し頂きました。



卓話「2020年オリパラにむけての食の有り方」

学校法人服部学園 服部栄養専門学校
理事長・校長/医学博士 服部 幸應様

学校法人服部学園の校長をしております、服部です。代々木に学校がありまして中央線で新宿から一駅でありますので、機会があれば是非お声掛け頂ければと思います。私は四谷RCのメンバーで籍は置いてありますが、出席率は良くなり卓話でお呼びが掛かった時にメイクをして凌いでおります。いよいよオリンピックが500日を切りましたが、



6年前のロンドンオリンピックから農水省よりオリンピックの食のあり方についての研究の依頼があり、IOCとJOCのパーティーが現地で開催されたのですが、銀座のすし店久兵衛さんと、麻布にあるそば店に連れて行きました。久兵衛さんは外国でも名が売っていてIOC会長が飛んで来ましたので、東京での開催の際は皆さんに奢りますと話しまして、和やかな雰囲気での開催となりました。それから二年ほど経ってから、日本開催が正式決定しました。五輪には「オリンピックレガシー」という言葉がありまして、大会方針として全てオーガニック食材を用意する事となっております。日本のオーガニックの食材の普及率を調べましたが、肉と魚と野菜と果物全てがオーガニックである必要があるのですが、わずか0.3%でした。これではオリンピックが開けませんという事になってしまいます。オリンピックの開催にあたってはレガシーを遺していかなくてはいけないという使命があります。では日本はどうか、開催は決定していますが全然用意されていないのです。ですので、オーガニックを取り扱っている会社に生産量を増やすように要請したのですが、難しいという回答であり、スーパー等でも有機食材を扱うコーナーが殆ど設けられておりません。しかし実際オリンピック代表選手は、皆オーガニック食品を食しているのです。肉の中に抗生剤等が含まれているとドーピング検査に引っ掛かってしまいますので、これは日本での開催は大変だと実感しました。少なくとも5年間この事で悩みつつ準備を進めておりますが、これが中々難しいのです。スーパー等は付き合いがあって、オーガニック食品を扱うと排除される危険がある為そもそも扱わない傾向にあり、日本の販売構造はとても遅れています。日本には第二次大戦後に進駐軍が来ましたが、元々アメリカ人はサラダを食す国民です。当時既に生まれていらっしゃる方々はサラダを食べたでしょうか。恐らく食べていないと思います。ではいつから食べるようになったのでしょうか。知る限りでは39年前に六本木でサラダバーというのが出来て、野菜にドレッシングを掛けて食べる店だという事で、興味津々で行きました。そしてこんな物でお金になるのかと言いながら帰ってきた記憶があります。サラダ菜やレタスというのは生で食べる野菜で、その頃から一気に生産が増えてきたのですが、中から虫が出てくるという事をアメリカ人に指摘され、その後農薬と化学肥料を使い始めたのですが、いまだに日本はその時のままの状態です。全農や農協は、農薬や化学肥料を売り、トラクターを貸し付けて大きな利潤を得て発展してきた企業なのです。日本は70年前に1,423万人の農業従事者がいましたが、現在は約200万人弱となり、漁業従事者は360万人から約18万人に減りました。1960年代に政府は所得倍増計画を提唱した事で、農業・漁業従業者は極端に減ってしまいましたが、農薬や化学肥料の使用で生産が楽になり、人手が減っても大丈夫になってしまったのです。これが今日まで続いている

のが日本の現状なのです。中国の農産物は酷いなどよく言われていましたが、日本では売れなくなってしまう為に危ない事は表面化しないのです。そこに大きなギャップがあって、これをどのように乗り越えていくかが問題なのですが、1997年にドイツが制定したグローバルGAPという、工程表を作成し日々の作業を明記するというやり方を実践する必要があります。現在のEU諸国は55%がこのグローバルGAPで生産されているのです。今から3年半前より北海道の一部で実行されており、他にもないかと探しましたが、ありませんでした。日本も2007年にJGAPを作り実行していますが、これが適当であり、人手不足の為に農薬の使用も認められています。しかしこれは国際的に認められている制度ではありませんので、それをアドバンスさせて改良し、アジアンGAPという制度を2年前の夏に作りました。何とか近づけようと奮闘していますが、まだまだ数は少ないのが現状です。オリンピックでは1,600万食を用意しなくてはなりません。私は1962年にレイチェル・カーソンが書いた「沈黙の春」という著書を読みましたが、そこで改めて食の安全・安心という事を理解しました。彼女はカイツブリという鳥が大量死した事で呼ばれ、死骸の内蔵を調べたところ、大量のDDTという農薬が検出されたのです。これはブヨが大量発生した事に対処する為で、当初はDDTを7000分の1に希釈して使用していましたが、3年で効果が無くなり、次に5000分の1の希釈に変更して使用しても1年しか続かない状態で、湖に投下されたDDTが食物連鎖によって濃縮され、鳥が大量死する事に繋がっていたのです。そこでレイチェル・カーソンはアメリカ政府にDDTの使用禁止を言いましたが、アメリカの化学を冒涇するのと言われていたのです。しかし彼女の没後にその研究が進み、1970年代に禁止となりました。一方日本は、禁止になってまだ12年程度なのです。このような状態を早く改善しないと、鳥のようにバタバタと死ぬ事になる可能性もあるのです。有吉佐和子さんが1975年に書いた「複合汚染」という著書がありますが、新聞での連載もあって大変有名になった方で、様々な病気を明らかにしたのですが、日本における裁判で勝訴したのはつい最近の事でありまして、全て無視されてきたという歴史があるのです。そして2005年に食育基本法という法案が制定され、内閣府で10年間、その後農水省に移管され現在に至りますが、その食育推進評価専門委員会の座長を務めており、これを広めるために全国を動いております。しかし「食育」という言葉はかなり浸透してきていますが、中身の事となると殆どの

方がご存じないという状況です。ここで重要なポイントをお知らせしますが、「バイオダイバーシティ(多様性)」「サステイナブル(持続性)」「エコロジー(環境保全)」という三つの柱で出来た法律なのです。この三つを分解すると、非常に面白い事が分かります。2015年に国連のサミットの中でSDGsが提唱されていますが、その中の17項目の努力目標のうちの大半は食に関する事なのです。ですから食育基本法の制定は間違いではなかったという事で、2030年までの目標ですからそれに向けて啓蒙しています。そしてこの17項目は正に食育基本法の三つに全て該当するという事なのです。全ての事柄を説明する時間が無いので、幾つか話したいと思います。日本は観光の分野で今後も大きく伸びると思う方は多くいると思います。去年は3,000万人を超える外国人が来日しました。2020年には4,000万人を超えるだろうと言われていました。しかし海外旅行先の一位はフランスで8,690万人、日本の二倍以上です。続いて二位がスペインです。以前は少なかったのですが、急激に増えて8,180万人、三位がアメリカ、四位が中国、日本は後15年後には6,500万人を見込んでおり成長産業として期待されていますが、特に日本の「食」が注目されているのです。また外国で日本食のレストランは123,000件あります。その中でも特に多いのはすし店です。何故寿司なのでしょう。実はヨーロッパは100年前には砂糖を使わない料理が普通で、デザートだけが甘いのですが、人間はこの甘みにホッとするので、全く砂糖を使わない料理を食しているとイライラするという事が多いのです。それに対して寿司には酢と砂糖が入っているので、最初の一口目からホッとするのはこれが注目されているのです。それに近いものは、アメリカではホットドックとハンバーガーです。これは何故かという、ケチャップの中に砂糖が入っているからです。そして最近ではトンカツ・たこ焼きがかなり流行ってきていますが、これもソースの中に砂糖が入っているからです。有機農業は1971年から始まっていますが、当初は評判が良くなかったのです。しかし外国ではこれが基礎となって急激に発展したのですが、日本は逆に進んでしまっているのです。これは人が少なくなっているからです。東京オリンピック・パラリンピックに関しては、4つのレストランを出す事になっておりますが、このレストランで1日60,000食近くが必要になります。今何とかこれを有機食材でカバー出来そうな所まで来てはおりますが、今後有機を伸ばしていくには皆様の声も大切だと思いますので、是非ご協力ください。

事務局／東京都立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階
【TEL】042-525-4046 【FAX】042-529-2666
【HP】<http://www.tachikawa-rc.org/>
【E-mail】ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp

例会場／東京都立川市曙町2-40-15 パレスホテル立川
TEL：042-527-1111
例会日／金曜日 12：30点鐘
会長／清水淳一 幹事／平井洋孝 会報担当者／杉森 創委員